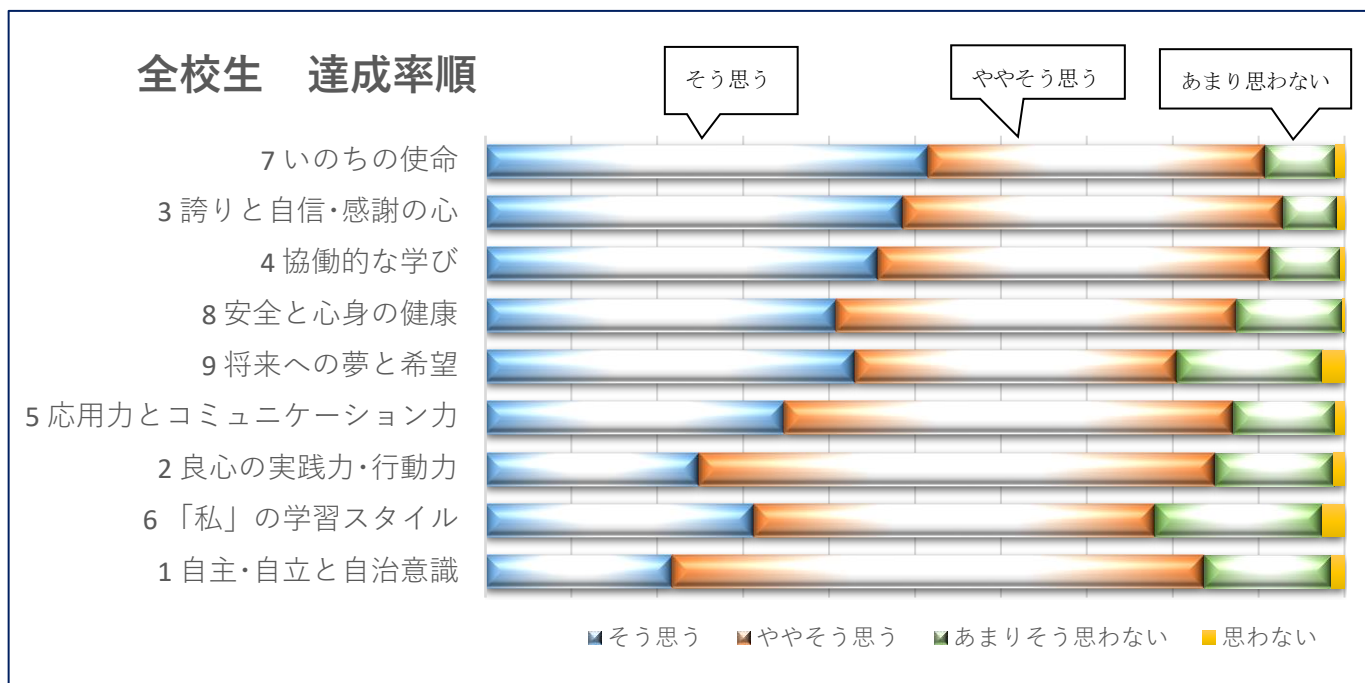




山形市立金井中学校
学校だより
令和4年12月13日発行

自己評価アンケート(生徒)結果について

学校生活で年間を通じて「頑張ること」として取り組む9つのことについて、前期自己評価しました。結果は以下のグラフです。左から「できていると思う」「ややできていると思う」「あまりできていると思わない」「できていると思わない」の人数を棒グラフに表したものです。学年によって多少の違いはありますが、ほぼ同じ傾向でした。全項目とも「そう思う」「ややそう思う」が7割を超えています。「協働的な学び」は、コロナ対応の緩和により昨年と比べて大変向上しましたが、自分たちの生活を自分たちでコントロールする「自主・自立と自治意識」について、自信をもって「できていると思う」と答える生徒の割合が低いです。各自の目指すところが、それぞれ高いため、自分はまだまだ、と考えている人がいるかもしれません。または、「もう少しできるのに、やっていない。」という人もいるものと思われます。できているところに目を向けて、できることを増やしていくことが大事です。



上記の結果を受け、3年生は、まずは自分たちの自治意識を高めようと、現状を話し合い、頑張りどころを皆で共有し、後輩へ引継いでいこうと取り組んでいます。その取り組みを紹介します。

令和元年5月に校則の大幅な見直しが行われ目指す姿「真・金井中生徒会宣言」を制定しました。服装や髪形に関する細かい規則を撤廃し、「一人ひとりが正しい判断をすること」と「自分たちでお互いに声をかけ合い、正しい判断が出来ていない生徒には周りの人が声をかけ合うこと」のできる自治的な生徒会にしていくことが決定！

自治的な活動の
大きな一歩を確認

4年目に入りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により話し合いの機会が減少し、定期的に自分たちの姿について振り返る機会を設けることが出来ませんでした。昨年度の後期生徒会のときにも、上記のように「自主・自立と自治意識」の項目が振るわず急遽話し合いをもち、2月の臨時生徒会総会を経て、「真・金井中生徒会宣言」の内容を再度確認しました。

今年は、と言えば、また昨年と同様に「自主・自立と自治意識」の項目が振るいません。そこで、新旧生徒会の引継ぎのタイミングで、今年は、3年生が自治意識を自分達で高めようと取り組みます。

各クラスでの話し合いを受け、私たちは、こんなことに取り組みます！
意思表示と取り組みの共有場面です。



どのクラスの取り組み目標も

皆の進路目標実現のために、皆が頑張れる環境にしていこう！

自分達で意識して、声かけ合って行こう！という内容でした。

自分達の課題を自分達で話し合い、目標を自分達で設定し、それを共有して取り組む3年生の姿に期待。

第2回 学校運営協議会にて



10月26日に第2回学校運営協議会が行われました。この会議は、生徒の育成を目的に子どもの願いを受け止め実現するために、学校、保護者、地域が協働で熟議をして、方針が決まればコーディネーターを中心に活動を推進していくものです。今回は、山形市教育委員会社会教育主事の小林先生をお迎えし、好事例を紹介してもらい具体的なイメージを持って話し合いに臨む事ができました。熟議冒頭で、金井中旧生徒会3役から、「私たちは自主自立を目指し、細かい校則をなくし生活しています。地域の方々の目にはどのように映っているでしょうか。」と運営協議会の委員に対し意見を求めました。委員からは、様々なご意見を頂くことができました。

- ・校則が無くなって、だらしなくなったとは思っていない。逆によくやっているな、と思っている。
- ・よく維持していると思う。挨拶もよくしてくれる。地域に広めて欲しい。
- ・校則をなくす、当初の頃は、野方囷になるのではないかと地域では心配もあった。
- ・自分達の判断で服装などの細かいルールを無くした時の生徒の機運を忘れない取り組みが必要
- ・そのときの勢いを劣化させないでほしいし、自分達の誇りとし、伝統としてほしい。
- ・子どもたちは、社会が求めている姿に順応しようとしている。
- ・うまくできていない生徒も中には見受ける。地域の人、地域以外の人にも見られているということ意識してほしい。
- ・中学生といえども、社会の一員。その自覚を持って社会のマナーを守ることも意識できたらいい。

等々、様々なご意見を頂戴しました。地域の方々が、温かく且つこれからの地域の将来を支える子ども達が、より良く育つようお願い、日々見守ってくださっていることに、改めて感謝したいと思います。

その後、各部会に分かれて、また別の課題について熟議をいたしました。



山形市立金井中学校
学校だより
令和4年12月13日発行

合唱コンクール

今年度は、11月3日の文化の日に校内合唱コンクールを開催しました。祝日とあり、保護者の皆様より多数参観していただくことができました。生徒の合唱はいかがだったでしょうか。

皆様もご存じのように、練習は感染対策による制限があり、パート練習はできても全体で合わせる練習は限られていました。コロナ禍だし、これくらいいいんでない?とならないよう普段の練習に頑張るポイントが欲しいと願い、今年は審査員の先生を各学年の中間発表会にお招きしました。それが刺激になったことは言うまでもありません。今はコロナ禍で外部交流が部活動しかありません。保護者以外に自分達の学習活動を参観される事もなかったのですから。生徒の皆さんは中間発表でのアドバイスを生かし、どの学級も自分達の合唱を創ってくれました。残念ながら、1年生は当日行うことができず後日開催となりましたが、中間発表会からは比べられないほど上手になっていました。



生徒会役員選挙 として リーダー研修会

11月10日に生徒会役員選挙が行われました。演説会はリモートで行いました。リモートに大分慣れてきたとはいえ、候補者、責任者は放送室から、全校生の顔が見えずに演説をします。自分の主張がきちんと伝わったか、会場の空気がわからないやりにくさがあったことと思いますが、候補者は皆堂々と演説をしていました。後期からどうぞ金井中学生徒会をよろしくお願いします。

12月1、2日、27日、リーダー研修会を行っています。金井中学生徒会の自治力を一層高めて欲しいと願います。

昨年度、金井地区教育後援会費で購入させていただきました除雪機がこの度、納入されました。今は発注してもすぐに納入となりません。昨年度は大雪で、途中除雪機が故障し大変困りました。地域の支援に感謝し大事に使わせていただきます。



山形市健康推進学校 <優良賞>



様々な健康安全に関する取り組みに対しての表彰です。学校での取り組みもさることながら、全校生徒の「いのち」を大事にすることへの意識をこれからも大事にしていきましょう。

**第41回全国中学生
人権作文コンテスト山形大会にて
3年 小池 風璃 さんの作文
『保育士を目指す未来の自分へ』が
日本放送協会山形放送局長賞に輝
きました。おめでとうございます。**

社会の問題に目を向け、自身が大切に
育てられたこと、授業で学んだこと、
それらを通して自身が目指す夢が、い
のちをはぐくむ尊い職業であることを
改めて自覚する作文でした。

学校保健委員会（12月2日）に
伊藤洋子先生をお迎えして、
Z o o mで開催しました。

『親子のかかわり方

～小中学生の子どもを持つ保護者～』と題して、講演
を頂きました。レジリエンス（回復力）を育てるために、
発達段階毎のかかわり方について丁寧にお話を聞く
ことができました。もう手遅れ、と思ってしまいがちです
が、伊藤先生からは、まだ大丈夫ですよ、とお話されて
いました。この話との出会いが挽回のチャンスかもしれ
ません。参加された皆様ありがとうございました。

「合格りんご」

毎年、12月に入り3年生の進路決定に向けた取り組みが進む中、そんな生徒を応援しようとJA 東金井支部
青年部の皆さんより、合格祈願という文字の入ったりんごが贈呈されました。

今年で20年目、青年支部の皆様は金井中出身者、それぞれの記憶に残る中学時代の学校の様子を懐かしく
語りながら毎年りんごを届けてくださいます。生徒に配るりんごを作るために、合格祈願の文字の紙を300個ほど
のりんごに貼るそうです。雨、風、鳥など自然災害を考え生徒数よりも多くのりんごを準備してくださいます。更に
は、収穫後、三大文殊の一つ亀岡文殊で、ご祈願していただくそうです。そうやって手間や時間をかけて贈呈して
くださる、JA 東金井地区青年部の皆様に感謝です。今年も、3年生に地域の暖かい激励をいただきました。

